

河内長野市 報道提供資料

まち歩きも楽しく
高野街道酒蔵通り周辺の景観整備が完成

河内長野市では、このほど高野街道酒蔵通り周辺の景観整備事業が完成しました。これは、平成21年7月に大阪府が「大阪ミュージアム構想」の一環として進めている「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」のモデル地区に選定され、高野街道のにぎわいやまち並みを再生する取り組みとして進めてきたものです。

河内長野駅から徒歩5分の場所にある高野街道酒蔵通り周辺は、国登録文化財である「西條合資会社旧店舗」（写真①）など歴史的雰囲気の色濃く残しています。また、街道周辺の玄関先を彩る「杉玉のある町並み」（写真②）など地域のみなさんが主体となり景観形成づくりに取り組んでいます。

高野街道の古いまち並みを再生し、来訪者が歩いて楽しめる環境をつくるため、高野街道への入口にあたる吉年邸前の道標（写真③）から酒蔵通り周辺まで、街道を石畳風・カラー舗装化するとともに、一部の電線を無くしスッキリとした景観を演出しました。夜間は、街灯と地域住民の協力により設置された灯ろうで雰囲気を高めています。

